

大衆社会批判の思想家

2018 年追試

問 8 他者との関係において生じる感情や行動についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

8

- ① ヤマアラシのジレンマとは、相手から傷つけられることを恐れるあまり、互いに相手を先に攻撃しようとする状況を表している。
- ② ヤマアラシのジレンマとは、自分を傷つける相手を恐れるからこそ、互いに相手に近づき、取り入ろうとする状況を表している。
- ③ リースマンの唱えた他人指向型の人間類型とは、第三者(公平な観察者)の立場から他者に共感する人間のあり方を表している。
- ④ リースマンの唱えた他人指向型の人間類型とは、他者からの承認を求め、周囲に同調しようとする人間のあり方を表している。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 8	8	④	2

2016 年本試

問 3 科学の発達とも相まって発展した近代社会は、他方で負の側面を抱えこむことにもなった。この点を考察したウェーバーについての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

31

- ① 合理化が推し進められた西洋近代においては、組織的な分業を旨とした官僚制による管理・支配が浸透しがちである点に着目し、そのもとで人々の個性や創造性が抑圧される危険性を明らかにした。
- ② 近代化の推進役である理性が道具的な性格に堕し、手段の効率性に囚われて目的それ自体は顧みなくなることで、かえって野蛮な事態が生じる点に着目し、理性のあるべき姿を探る批判理論を展開した。
- ③ 目的の効率的な達成を目指す近代の政治的および経済的なシステムが、生活世界の植民地化をもたらすきらいのある点に着目し、それによって人々の日常的な行動や人間関係が侵食される事態を批判した。
- ④ 生産の大規模化が進行した西洋近代においては、労働を通じて自己を実現したり、他者と連帯したりすることが困難となっている点に着目し、そうした状況を労働の疎外(疎外された労働)と呼んだ。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 3	31	①	3

2015 年追試

問 7 次のア～ウは，自己と他者の関係についての様々な考え方を説明したものであるが，それぞれ誰のものか。その組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

7

ア 現代の大衆社会においては，孤独への不安から他人の行動に同調し，他人からの承認を強く求める他人指向型の人間が多い。

イ 他者とは，私とは絶対的に異なった独自の「顔」をもつものとして現れ，常に私の理解や予測を超える存在である。

ウ 現代社会における個人の自由は，自己に精神的な孤立や孤独の不安を生じさせ，そこから逃走しようとする心性をもたらし得る。

- | | | | | | | |
|---|---|-------|---|-------|---|-------|
| ① | ア | リースマン | イ | レヴィナス | ウ | フロム |
| ② | ア | リースマン | イ | フロム | ウ | レヴィナス |
| ③ | ア | レヴィナス | イ | リースマン | ウ | フロム |
| ④ | ア | レヴィナス | イ | フロム | ウ | リースマン |
| ⑤ | ア | フロム | イ | リースマン | ウ | レヴィナス |
| ⑥ | ア | フロム | イ | レヴィナス | ウ | リースマン |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 7	7	①	3

2014 年追試

問7 エリクソンの半生をたどった次の文章を読み、～に入れる記述をア～カから選び、その組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

エリクソンは1902年に生まれ、父親の顔を知らずに育つ。放浪の旅と芸術活動を続けた青年期を経た後、ウィーンにたどり着き、そこでフロイトとその娘アンナからを学ぶ。児童分析家として成長すると、新天地を求めアメリカへと渡る。文化人類学者のマーガレット・ミードやベネディクトらと交流するなかで『幼児期と社会』を著し、という人生周期(ライフサイクル)の考えを示す。社会と自己の関係についてのエリクソンの考えは、友人だったリースマンの著書『孤独な群衆』にも影響を与え、現代人が他人指向型の性格に変化してきているというリースマンの問題提起へとつながった。

- ア 人間の行動を深層心理から解明し、神経症の治療に活^いかす精神分析
- イ 夢や神話を通して、人類に共通の無意識を解明しようとする分析心理学
- ウ 人間にはいくつかの発達段階があり、時間をかけて自我が成長する
- エ 人間は幼児期から青年期までの各段階において発達課題を達成していく
- オ 周囲の意向や社会の評価を感じ取って、それに従い同調しようとする
- カ 自由がもたらす孤独や不安に耐え切れず、権威への服従を自ら求める

- ① a—ア b—ウ c—オ
- ② a—ア b—ウ c—カ
- ③ a—ア b—エ c—オ
- ④ a—ア b—エ c—カ
- ⑤ a—イ b—ウ c—オ
- ⑥ a—イ b—ウ c—カ
- ⑦ a—イ b—エ c—オ
- ⑧ a—イ b—エ c—カ

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 7	7	①	3

2013 年本試

問 8 次のア～ウは文明社会を批判的に考察した思想家の見解であるが、それぞれ誰だれの見解であるか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 37

ア 現代の消費社会において、人々が商品を購入するのは、それが必要だからというよりも、他人との差異を示すためであり、そうした差異への欲望を刺激し消費拡大を目指す企業を批判する言説も、消費の対象になっている。

イ 実現すべき目的を批判的に検討する能力であった理性は、近代社会の発達に伴って、任意の目的に手段が形式的に適合するかどうかを判断するだけの道具的理性と化し、個人を抑圧する画一的な社会を形成してきた。

ウ 合理性を徹底的に追求した近代官僚制を特徴とする社会を作り上げた現代人は、いわば鉄のおろ檻と化したこの社会のなかで管理され、豊かな精神と人間性を欠く存在に墮する危険にさらされている。

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| ① ア ウェーバー | イ ボードリヤール | ウ ホルクハイマー |
| ② ア ウェーバー | イ ホルクハイマー | ウ ボードリヤール |
| ③ ア ボードリヤール | イ ウェーバー | ウ ホルクハイマー |
| ④ ア ボードリヤール | イ ホルクハイマー | ウ ウェーバー |
| ⑤ ア ホルクハイマー | イ ウェーバー | ウ ボードリヤール |
| ⑥ ア ホルクハイマー | イ ボードリヤール | ウ ウェーバー |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 8	37	④	3

2008 年本試

問 3 ウェーバーが挙げた官僚制の特徴についての記述として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 組織の構成員の個性や自発性が重視され、その個性の多様な発展によって組織が積極的な活動を行うことが期待される。
- ② 組織の構成員の非専門性が特徴であり、非熟練労働者を効率的に利用することを目指している。
- ③ 組織の構成員は、個人的な感情や価値観をもちこまず、規則に従って効率的に仕事をこなすことを求められる。
- ④ 組織の構成員は通常、心理的な柔軟性をもたず、権威に依存しやすい性格の人々である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 5 問	問 3	33	③	3

2008 年追試

問 2 人間関係のあり方に関連する様々な用語の説明として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

2

- ① 外向型 (外向性) : フロイトによって分類された性格類型で、心のエネルギーが外に向かいやすいため、他者に関心をもち、陽気かつ社会的で交際範囲が広い性格
- ② やまあらしのジレンマ : 他者と距離が遠すぎると孤独になり、近すぎても摩擦や衝突を起こすなど、他者との適度な距離を保とうとすることによって起こる人間関係の呵藤
- ③ 他人指向型 : リースマンによって名づけられた性格類型で、大衆社会における孤独と不安から、他者による承認を強く求め、その評価基準に身を ^{ゆだ}委ねて他者に従う性格
- ④ 仮面をかぶった人間関係 : 自分が傷つくことをおそれるあまり、本音を隠して偽りの仮面をかぶり、他者に過度に同調することで表面的になってしまう人間関係

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 2	2	①	2

2003 年本試

問 4 現代人の在り方を批判的に考察したウェーバー、フロム、リースマンの見解として最も適当なものを、次の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選べ。ウェーバーについては に、フロムについては に、リースマンについては に答えよ。

- ① 近代哲学が人間の本質を普遍的理性とし、真理を合理的客観性に限定したため、現代人は水平化して主体性を喪失した。しかし、人間は本来、個性的で自由な主体であり、その求める真理もまた主体的でなければならない。
- ② 現代人は社会の束縛から解放されて自由な個人になったが、まさにそれゆえに耐えがたい孤独に陥り、強力な指導者に隷属したり均質な社会のうちに埋没したりすることによって再び自由から逃れようとする傾向をもつ。
- ③ 近代以降の西洋文明は、社会の規範から逸脱したものを非理性的な狂気として排除し、人間の理性を絶対視してきた。そして、日常的な権力関係を通して、社会に順応する人間を生み出し、人間を規格化してきた。
- ④ 現代は、自分が他人と同じであることを喜び、自己満足的で無気力な平均人が権力を握る、歴史上初めての時代である。非凡で個性的なものが排除されてしまうため、西洋文明は危機に ^{ひん} 瀕している。
- ⑤ 内部指向型が支配的な人間類型だった時代は終わり、現代では、漠然とした不安から他者の承認を求め、自分の価値観にこだわらず他人と同調して生きる他人指向型が支配的な人間類型になりつつある。
- ⑥ 合理性を徹底的に追求した近代官僚制を特徴とする社会を作り上げた現代人は、いわば鉄の ^お 檻 と化したこの社会の中で逃れがたく管理され、豊かな精神と人間性を欠く存在に墮する危険がある。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第4問	問4	30	⑥	2
第4問	問4	31	②	2
第4問	問4	32	⑤	2